

刊夕 日九月十

常磐每日新聞

定価 一月五拾五圓 三月一拾五圓 半年二拾五圓 一年四拾五圓
電話 五五五五 五五五五
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

慘害の都より (上)

大阪外語在學
中村浩

九月廿日は朝から曇つた天氣で午後になつては少しの風が加り、夕刊には暴風雨警報が發せられておりました。翌廿一日は六時頃起床するとしく／＼と雨が降つて居りました、食事をしつゝ居りました、風が加つて参りましたのでこれは幾分嵐にでもなるかなと思つてゐました。

七時三十分頃丁度友達にさそはれたので下宿を出掛けました、此の頃より風が更にふきつけ瓦が落ちて来て、相當危険でした。學校へ行くのを止められました、それ程とまで思はなかつたのでそのまゝ

不足と空腹とが最もこたへる汗を嫌つて咽喉の渴きを我慢して歩くなどは悪い
日射病の誘因としては睡眠不足と空腹とが最もこたへる汗を嫌つて咽喉の渴きを我慢して歩くなどは悪い
往來へとび出しました、普段は歩いて行きますが餘りひどいので、電車にのりつゝもりて停留所までたどりつきました、丁度七時四十分頃でした、電車は停電して

ひます、止むを得ず自動車に乗らうと思つたのですが流す圓タクも一臺もなく歩行してゐる人としてありませぬ、道ではあふないので軒下に入りました、入るや否やその家の看板がぱつとふきとばされもう少しで下になるところでした、この頃

…明日の日献立…

- 【朝】味噌汁—ぬぎ小付 納豆
- 【晝】オムレツ 生姜佃煮
- 【晚】栗きんとん さき松茸 ゆず湯豆腐 花かつ

の風と云つたら形容も出来ません、あの一丈四方もある様な電車の廣告板が空中高く舞ひ上げられます、この頃までは半分面白くながめて居ましたが、目前の屋根がぐすれ出すに至つてはその場に居たゝまれば、民家の中へと逃げこみました、逃げこんだのはよいが、その家がギョ／＼と動き出し、或はこのまゝで居たら下敷になるのではないかと等と、心配して、死や着板のとび交ふ中を、一丁程先の區役所の中へとびこみました。



短歌

旅の思出

平岡 揚滿

材木を運ぶ荷馬車の馬の背に赤旗立てり石岡の町ちやぼの雑農家の庭にひとむきに餌をあさる見ゆ

我孫子の村に近づける都も知らずありにけりそれとは知らぬいらかの大波

公園のベンチに我等放たれて宵の薄闇を停車場に行く

旅心をゆるにさみし大阪をたちて京都の灯を見しときは
一さげの籠の果物分け分けぬ疲れし生徒の旅のさみしさ
猿澤の池に遊べる龜の上をそぼる雨は静かなるかな

おなじみの...

カキ料理 エビ料理
松茸料理 なべ類 其他色々
相始めました、何卒御試食下さい
平二巻巻屋通
魚清食堂
電話 六六三三

透明障子紙

出前やさん至急入用
意匠登録 第六三三七八號
本品は室内用、室外用の二種あり
室内用は張方従来の通り生熟糊にてよろし
室外用は特に室外用ノリにて張ればよろし
本品は硝子、セルロイド以上の優秀點を具備す
雨と風との神様が兩神一緒に暴れても室外用は平氣なり
現品は普通障子紙巾にて(長さ九メートル) 六十銭
室内用 八十銭
室外用 ノリ 一罐 二十銭
平町四丁目

秋!!! 酣の秋!!!

夕伊勢屋 阿部商店
電話四五番

女事務員募集

希望者は至急來談あれ……
年齢十六、七歳より二十四、五歳迄
給料面談
御用命下さい「電395番」
平・三 芹澤タクシ

自轉車

景品 月賦販賣
販賣方法 八ヶ月分割拂但し四回御拂込にれば現品御渡し致します(日掛歡迎)
締切 賣切れと同時に(各車一百臺)
景品抽籤 最終掛金領收後直に常磐毎日新聞社々員立會の上舉行す
景品 一等より五等迄空籤なし
上等三重總桐タンス 上等茶箆筒
座蒲團五枚一組 南部鐵瓶 三越製御盆 等々

特許マーツ號發賣記念
國產高級車 三 菱 號 金五拾貳圓也
經濟高級 菊 號 金五拾圓也
盜難豫防運搬 特許マーツ號 金五拾圓也
車代用頑固車 アーテンシー號 金四拾五圓也
高級實用車
發賣元東京合名 鹽野製作所
代理取扱店 平町 エビスヤ自轉車店
電話 六六四番

△葉書又は電話にて御通知下されば直に御伺ひ致します尙不明の點は代理店へ御紹介下さい

[號 ツ | マ]

時化模様の被害

小名濱と仲の作の築港

欠潰流失す

平土木監督所では数日來郡下一帯を襲つた時化模様の爲管内各所に亘つて相當の被害ある見込みで目下調査中であるか目下判明の分は江名仲ノ作及び小名濱の兩築港である江名仲ノ作築港は目下東船溜場を締切り浚渫作業も殆んど完成同様の状態であつたが數日來の激

浪に危ぶまれて約五十餘米の締切防波堤が昨日午後遂に欠潰流失し目下鋭意復舊中であるが猶時日を要する見込みで損害二千圓を越える見込み同じく小名濱築港東船溜場締切防波堤も欠潰流失し此損害二千圓と見られて居る

臺灣からモシク

さのふ初ての通話

縣下のナンバーワン江島君

聞き工合を語る

既報平郵便局の滿洲、臺灣比島間の國際電話は取扱開始以來一ヶ月以上になつても利用者一名もなく實の持ち腐れの態であつたが昨八日午後一時頃平局の交換臺に遠く二千哩離れた臺灣臺中局からの呼び出し信號があり縣下のトップを切つた呼出者は臺中市十六番の某氏、受信者は平局の八十九番二丁目江島屋洋服店主江尻孝平さんで約四分間二通話に亘つて通話したが、利用者のナンバーワンである同店主は左の如く語つた

「用件は家事です。申上乗りますが通話の工

人の入札希望者は本日迄に早くも五名に達し居る

所得委員

選舉會を

十一日と決定

無競争の平稅務署管内所得調査委員選舉は明日一齊に各町村役場で執行されるが平稅務署では十二日午後一時から同署樓上で選舉會を開き當選者を正式決定す

四大新聞

通信部 結成

報導任務に

共同の戦線

報知新聞、東京日日新聞、讀賣新聞、時事新報の四大東京新聞平通信部は今回

約半数は汽車通學

警女生の通學別調査

警女に於ける現在の生徒數は一年二百名、二年二百名、三年百九十一名、四年百九十四名、計七百八十五名であるがこれ等生徒達の毎日の通學別を調査した處によ

「東京新聞四社會」を組織し公正なる報導の任務を遂行する上に共同の戦線を敷く事となつたが事務所を平町役場内記者室に置く由因に各通信部主任左の如くである

報知新聞金子正雄、東京日日田村五六、讀賣新聞坂本浩、時事新報野澤武藏

鐵筋の橋

昨日入札結果

平土木監督所では昨報の如く今九日午前十時から川部村四時橋、渡邊村高橋二橋の架替工事を入札に付した結果、四時橋は一萬九千八百十圓で川部村中山吉之助氏、高橋は六千四百圓で湯本町渡邊長作氏に落札した。いつれも近く着工するが四時橋は總鐵筋コンクリートのモダン橋となり從來の危険を一掃するわけで郡南地方民から喜ばれてゐる

弱視兒童調査

平町

各學校は明日の視力保存デーに際し各校長が近眼豫防に關する講話を行ふ外夫々弱視兒童の調査をする由

四倉蘭市況

昨日取引は横濱市場の成績が案外に悪く其處へ降雨も祟つて取引僅に百三十三貫六百三十匁、最高三十一圓、最低廿圓、馴廿八圓十匁となり前日の馴相場より一圓三十匁の値下りを見せたが本年は昨年より約二萬貫近い品不足でそろそろ出廻最盛期も過ぎたので來る十五日頃閉場する豫定であると

成績品の出陳

平町

各小學校は郡山市制十周年記念として開催される縣下兒童成績品展覽會に出陳すべく目下準備中であるが出陳品數は各學年一、二、三、四、五、六、七、八、九、十の各級に於て、

印半天が入賞

平町 鎌田町草野染工場より北海道及奥羽六縣工藝品展覽會(國立工藝指導所主催)に出陳した印半天は染色技術に傑出せる故を以つて入賞した

都市計劃視察

宮城

縣廳釜石縣議町議並に同町都市計畫委員栗野豊助氏は九日來平青沼町長に面接し平町都市計畫の現状に就き説明を受けたのち平町近村を視察の上即日歸町した

警中校長講演

滿洲

旅行から昨日歸校した警中校長小倉山久作氏は本日本午九時より同校講堂に於て全校生に視察談を試みた

渡邊教育後援

渡邊

村では全村民の贊助を得て一程渡邊教育後援會を組織した

理髮代を

關西へ送る

徳山第一小學校校長は此の光頭には無駄と感じた譯でもあるまいが數年來理髮屋行きを排してバリカンと剃刀を仕入夫人を理髮師に仕立て、自分は勿論愛兒達を散髪させて居る

看護婦急派

の求めに應

この事を洩れ聞いた部下の職員連今更ながら校長

平看護婦會

電話三〇七番

ともなる人の不斷の準備は買ふもんだと感心早速同校長の「理髮貯金」にあやかる者續出とか

平町人

事

△八幡小路七九 大平藤友 氏二女玲子さん

平町人

事

△八幡小路七九 大平藤友 氏二女玲子さん

外米をまぜる

平署が嚴重検査

米價高騰を機として

暴利を貪る不正商人

嚴罰を以つて臨む

最近の米價高騰に伴ひ平署管内米穀商人間には臺灣、朝鮮等の移入米を混入地元米と稱して暴利を貪つてゐる不正米商あるとの頻々たる噂に鑑み平署では近く一斉取締を執行各商店より見本米を集めて嚴重な検査を行ひ違反者には嚴罰を以て臨む方針であると

汽車時間の改正は十一月に

上野平間は既に決定

過般東海道線丹那トンネルの開通により同線の七哩短縮が實現した爲め是が連絡上全國的發着時間の改正となり平署運輸係員は去る一日より五日迄東京鐵道局管内の運輸系統變更會議に出席し去る六日歸平した結果大体上野平間間の改正時間は決定したが仙臺鐵道局との連絡が未だ定まらぬので此の實施は十一月上旬群馬縣下で行はれる陸軍特別大演習頃であらうと

編物機の講習會開催

平町田町ハシモトヤ糸店では最近家庭用具として好評

八日午前八時頃内郷村大字嶺地内下水に七十才前後の老婆が裾も露はに溺死してあるのを通行人が発見届出により平署員検査の結果右は同村綴彦左衛門の母所けさの(七)で折柄の暴風を冒

漁夫に

生死不明の

失踪の宣告

八日午前八時頃内郷村大字嶺地内下水に七十才前後の老婆が裾も露はに溺死してあるのを通行人が発見届出により平署員検査の結果右は同村綴彦左衛門の母所けさの(七)で折柄の暴風を冒

暗闇に足踏み外し

老婆下水に溺死す

大風を冒して湯に行く途中

八日午前八時頃内郷村大字嶺地内下水に七十才前後の老婆が裾も露はに溺死してあるのを通行人が発見届出により平署員検査の結果右は同村綴彦左衛門の母所けさの(七)で折柄の暴風を冒

吉岡検事出張

平署才判所吉岡検事は貝泊石住

明日のラジオ

今晩の部
後六、〇〇 子供の時間
童話劇「軒をかいたお地蔵さん」J.O.A.K.唱歌隊
後六、二五 英語講座(二)
の七、久野朝郎
後七、二〇 講演「軍縮會議と其後に來る物」海軍

縁切りの手續

女房から平署へ説諭願
内郷村大字高坂字宮澤磐炭坑夫大高己芳(三)妻シナ(三)は數年前現在の夫に嫁入りし文字通り琴瑟相和して七才の男児を頭に

校舎内外整頓

平第一小學校自治會は此程役員協議の結果校舎内外を整頓する事になり校内敷ケ所に公徳箱を設置した

平職界紹介所報告

回人を求める方
△印刷工 二十五才以下 尋卒 給料面談
△商店雑役 十八―二十五才 尋卒 月六圓乃至二十五圓 學力不問 月八圓―十圓
△農夫 三十才前後 學力不問 給料面談
△女中 三十才位 尋卒 仕着 月四圓位
△回職を求める方
△商店雑役 三十八才 無學
△料理人 二十一才 尋卒
△豆腐賣子 廿八才 尋卒
△外交員 廿三才 中學卒
△自動車運轉手 廿五才 中學三年修了
△炊事婦 四十七才 無學
△事務員 廿七才 商業卒

落語の夕決算

平町在郷軍人分會では去る三日柳家金語樓の落語の夕を催したが當夜の收入總額は四百九十一圓六十錢で支出は金語樓師謝禮及び旅費宿泊料二百九十八圓四十八錢、會場並設備費二十四圓その他總額三百六十六圓四十五錢で差引純益百二十五圓十五錢であつたがこの利益處分は左の如くである

明日の部

大佐 武富邦茂
後八、〇〇 獨唱と管絃樂
平井美奈子 仙臺管絃樂團
後八、三〇 俚謠 佐藤榮水外
後八、五〇 京城より朝鮮民謠と豊年踊吳太石外大勢

立木代金横領

田人村大字旅人油座暗次(五)は、山田村大井川淺吉外一名より山林立木の賣却方を依頼されたのを奇貨とし泉村江尻博孝氏に三百圓で賣拂ひ此代金を横領した事發覺植田署に告發され取調べを受けたが本日詐欺罪として一件書類と共に平檢專局に送檢された

校舎内外整頓

平第一小學校自治會は此程役員協議の結果校舎内外を整頓する事になり校内敷ケ所に公徳箱を設置した

縁切りの手續

女房から平署へ説諭願
内郷村大字高坂字宮澤磐炭坑夫大高己芳(三)妻シナ(三)は數年前現在の夫に嫁入りし文字通り琴瑟相和して七才の男児を頭に

校舎内外整頓

平第一小學校自治會は此程役員協議の結果校舎内外を整頓する事になり校内敷ケ所に公徳箱を設置した

平職界紹介所報告

回人を求める方
△印刷工 二十五才以下 尋卒 給料面談
△商店雑役 十八―二十五才 尋卒 月六圓乃至二十五圓 學力不問 月八圓―十圓
△農夫 三十才前後 學力不問 給料面談
△女中 三十才位 尋卒 仕着 月四圓位
△回職を求める方
△商店雑役 三十八才 無學
△料理人 二十一才 尋卒
△豆腐賣子 廿八才 尋卒
△外交員 廿三才 中學卒
△自動車運轉手 廿五才 中學三年修了
△炊事婦 四十七才 無學
△事務員 廿七才 商業卒

校舎内外整頓

平第一小學校自治會は此程役員協議の結果校舎内外を整頓する事になり校内敷ケ所に公徳箱を設置した

新立音頭

（編者上原及上野）

田邊南龍（作）
山本英春（書）

一五四：

佛と僧は敵同志

「オヤ御出家さんでござい
ますか、能くお出で下さい
ました、サア、どうぞ此
方へお入り下さいまし」

と、出て来たのは小粋な
女ふと權八が其の顔を見る
と吃驚した。先年田丸在四
ツ木村の正作方に滞在中、
隣家の豪農福住清左衛門の
娘おみつに馴染、遂に其の
娘を欺いて金を奪ひ足手纏
ひといふので斬殺して立退
いた其のおみつに附添ひ、
二人の間を取持した仲働き
のおなかといふ女、それが
此の女にそっくり他人の空
似といふ事は能くあるが、
餘り能く似てゐるので薄氣
味悪く思ひました、處が女
の方でも、

「アレッ」

と云つた、權八愈々心に
咎めたが大膽の人物

「然らば御免下さい」

と草履を脱いで上へあが

り「御佛前は何方でございま
す」

女も怪訝な顔をしながら

「アノ此方でございます」

と佛間へ案内をする線香
の香りが部屋に満ちて、美
しい花などが、手向けてあ
ります、權八佛前に近づ

「南無阿彌陀佛々々」
と唱へながら、線香に火
をうつしふと正面の位牌を
見ると、俗名福住光女とし
てある、權八ハツと驚き、
扱ては愈々おみつに附いて
ゐた女中のお仲じであつた、



し、之も罪滅ぼし、懇に回
向をしてやうと、權八心
から供養をして、應て經が
終ると、お仲が精進料理を
夫れへ出して
「別に何もお構ひは出来ま
せんがどうぞ召上つて下さ
います」
「夫は忝ない、折角のお志
頂戴を致しませう」
勧められる儘に權八食事
をしてゐると、お仲が頻り
に權八の顔を見てゐる、權
八は心中に悟られやアしな
いかと氣が氣ではありませ

さうして今日が我が手に掛
けしみの忌日であつたる
か、さうとは知らず、此の
家へ出家として法會に招か
れて參つたといふも因縁で
あらう、幸ひ此方の姿が變
つてゐるので、お仲も心づ
かんやうである、宜し、

ん。
「エ、御出家様に斯様な事
を申上げては甚だ失禮で
ございますが、貴所が御出家
を遊ばしたといふには、何
か深い仔細でもございませ
うね」
「イヤ別、仔細といふ程

の事もいけません」
「左様ですか、私は餘り貴
所様がお美しい故、女の爲
か何かで罪をお作りになつ
て、夫れで御出家をなすつ
たのではなからうかと存じ
ます」
「イヤ、決して左様な事
はありませんが、何故左様
な事を仰しやいますな」
と態と權八白齒つくりて
尋ねると
「實は最前から私は不思議
に思つてゐる事がございま
す、今日の佛様と申します
のは私に取つては御主人様
でございます」
「ハ、ア御主人の御供養を
なされたのか、夫れは近頃
御奇特の事で」
「尤も夫れには深い仔細が
ございます、私は元伊勢の
田丸在四ツ木村といふ所の
福住長右衛門と仰しやる方
の所に御奉行をしてをりま
したが、其處のお嬢様のお
みつ様といふのが、隣の正
作といふお爺さんの處に泊
つてをりました若いお武家

の事もいけません」
「左様ですか、私は餘り貴
所様がお美しい故、女の爲
か何かで罪をお作りになつ
て、夫れで御出家をなすつ
たのではなからうかと存じ
ます」
「イヤ、決して左様な事
はありませんが、何故左様
な事を仰しやいますな」
と態と權八白齒つくりて
尋ねると
「實は最前から私は不思議
に思つてゐる事がございま
す、今日の佛様と申します
のは私に取つては御主人様
でございます」
「ハ、ア御主人の御供養を
なされたのか、夫れは近頃
御奇特の事で」
「尤も夫れには深い仔細が
ございます、私は元伊勢の
田丸在四ツ木村といふ所の
福住長右衛門と仰しやる方
の所に御奉行をしてをりま
したが、其處のお嬢様のお
みつ様といふのが、隣の正
作といふお爺さんの處に泊
つてをりました若いお武家

●店員募集

年齢十五、六才、
者には至急来店あれ

玉屋洋品店

平町田町通電話六五六番

時計 蓄音器 レコード 眼鏡類 懐中電燈

高橋時計店

平町播磨小路

季節松茸料理

魚榮

平田町 電話四二四

配達迅速

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南町一六【電話七一〇番】

有給外務員數名募集

一、廿五才以上、經驗の有無を不問男女數名
一、固定給の外旅費支給す
御希望の方は履歷書持參談を乞ふ
(明治十四年創立)
(保險の開祖)

明治生命保險株式會社

事務所 平 小野 勝 康

所長 小野 勝 康

平・仲町

味覺の秋を樂しめる

香氣のよい松茸料理種々

多少に不拘出前迅速

仕出し 専門 錦水

電話四五四

耳鼻咽喉科専門

平田町 (電話六九一番)

病院完備 自炊便有

山内醫院

醫學士 山内亨吉